

日本を「海外で戦争する国」に変える 集団的自衛権の行使容認に反対します

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

[請願の趣旨]

安倍内閣は7月1日、これまでの憲法解釈を変えて、集団的自衛権の行使を認める閣議決定を強行しました。集団的自衛権の行使とは、日本への攻撃がなくても、海外にでかけて武力を行使することです。それは、これまで政府が「憲法上できない」としてきた歯止めをはずし、日本がアメリカと共に、世界のどこでも「戦争できる国」になることにほかなりません。

こうした憲法改定に等しい大転換を、与党の密室協議を通じて、一内閣の「閣議決定」で強行するなどというのは、立憲主義の真向からの否定です。

戦争のない平和なアジアと世界を願う私たちは、憲法を破壊する集団的自衛権の行使を絶対に許しません。また明文改憲にも反対し、以下のことを強く求めます。

[請願の項目]

- 一、集団的自衛権の行使容認とその立法化を行わないこと。
- 一、日本国憲法第9条を守り生かすこと。

氏 名	住 所

取扱い（署名送付先） **全国革新懇**（平和・民主・革新の日本をめざす全国の会）

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-8 三橋ビル5F ☎03-3357-5515